

I 大学入学共通テストを課さない学校推薦型選抜

1 募集人員

キャンパス	課程・学科	専攻	コース	募集人員(注)
柏原	学校教育 教員養成課程	中等教育専攻	技術教育コース	4人
			美術・書道教育コース【美術分野】	3人
	教育協働学科	芸術表現専攻	音楽表現コース	9人
			スポーツ科学専攻	20人
教育学部合計				36人

(注) 合格者(入学手続者)が募集人員に満たなかった場合は、一般選抜の合格者で補充します。

2 出願資格及び要件

課程・専攻・コース	出願資格及び要件												
学校教育教員養成課程 中等教育専攻 技術教育コース	<p>次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者</p> <p>(1) 次の①②のいずれかの項目に該当する者</p> <p>① 高等学校(中等教育学校の後期課程及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。)を令和3年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和2年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和2年度中に修了又は修了見込みの者で、工業に関する学科を履修見込み、若しくは総合学科において工業に関する教科・科目を25単位以上履修見込みの者(ただし、普通教科・科目の履修により専門教科・科目の履修と同様の成果が期待できる場合においては、その普通教科・科目の単位を5単位まで単位数の中に含めることができる。)</p> <p>② 高等専門学校第3学年を令和3年3月に修了見込みの者</p> <p>(2) (1)①の者であって、調査書の全体の学習成績の状況が4.2以上の者 (1)②の者であって、必須科目に未履修単位がなく【注】、高等専門学校で修得した単位数を次の式にあてはめた値(小数点第2位を四捨五入)が2.4以上の者</p> $\frac{\{(\text{秀の単位数} \times 4) + (\text{優の単位数} \times 3) + (\text{良の単位数} \times 2) + (\text{可の単位数} \times 1)\}}{\text{総履修単位数}}$ <p>ただし、成績評価は100点満点をもってするものとし、それぞれの評語は次の評点区分とする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>評語</th> <th>秀</th> <th>優</th> <th>良</th> <th>可</th> <th>不可</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>評点</td> <td>100～90点</td> <td>89～80点</td> <td>79～70点</td> <td>69～60点</td> <td>59～0点</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 将来、中学校・高等学校において技術教育に携わる教員を強く志望する者</p> <p>(4) 技術に関する高い興味と適性を備え、技術教育にかかわる学習意欲が旺盛であると認められる者</p> <p>【注】新型コロナウイルス感染症に伴う臨時休業による未履修の場合は入試課へ問い合わせてください。</p>	評語	秀	優	良	可	不可	評点	100～90点	89～80点	79～70点	69～60点	59～0点
評語	秀	優	良	可	不可								
評点	100～90点	89～80点	79～70点	69～60点	59～0点								

※ 出願資格及び要件について不明な点がある場合は、出願に先立ち早めに入試課へ問い合わせてください。

課程・学科・専攻等	出願資格及び要件
学校教育教員養成課程 中等教育専攻 美術・書道教育コース 【美術分野】	<p>次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者</p> <p>(1) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和3年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和2年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和2年度中に修了又は修了見込みの者</p> <p>(2) 次のA、Bのいずれかに該当する者 A 美術（デザイン・工芸を含む。）の専門学科に在籍する者で、調査書の全体の学習成績の状況が3.5以上の者 B 上記以外の学科に在籍する者で、調査書の全体の学習成績の状況が3.5以上であり、かつ芸術（音楽、書道を除く。）の学習成績の状況が4.0以上の者</p> <p>(3) 美術教育への深い関心と高い実技能力を持ち、将来、中学校・高等学校の美術の教員を強く志望する者</p>
教育協働学科 芸術表現専攻 音楽表現コース	<p>次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者</p> <p>(1) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和3年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和2年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和2年度中に修了又は修了見込みの者</p> <p>(2) 次のA、Bのいずれかに該当する者 A 高等学校の音楽科（それに準ずるコース等）に在籍する者で、実技（作曲・声楽・器楽）が特に優秀と認められる者（ただし、音楽関係科目等を13単位以上履修見込みの者に限る。） B 高等学校在籍中に作曲、声楽（独唱・重唱・合唱）、器楽（独奏・重奏・管弦楽・吹奏楽）の分野で、全国レベル又はそれに準ずるコンクールに入賞・入選した者又は主催者の推薦を受けて出演した者。又は、それに相当する実技能力を有すると学校長が判断する者。ただし、推薦人数は作曲・声楽・ピアノ・管弦打楽器の区分ごとに1校2名以内とする。 [出願資格に関わるコンクールについては、次頁を参照すること。]</p> <p>ただし、器楽についてはA、Bとも次の楽器に限る。 ピアノ、ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス、フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット、ホルン、トランペット、トロンボーン、バス・トロンボーン、チューバ、パーカッション</p> <p>(3) 調査書の全体の学習成績の状況が3.5以上の者</p> <p>(4) 音楽活動を継続しようとする意志が強固で、かつ、将来、音楽を通して教育協働の分野での活動を希望する者</p>

※ 出願資格及び要件について不明な点がある場合は、出願に先立ち早めに入試課へ問い合わせてください。

出願資格に関わるコンクール名一覧

作曲

コンクール	対象
朝日作曲賞（合唱曲作曲部門・吹奏楽曲作曲部門）	入賞及び入選者

声乐

コンクール	対象
全日本学生音楽コンクール（毎日新聞社主催）の地区大会	入賞及び入選者
全日本合唱コンクール全国大会	出場資格を得た者
NHK全国学校音楽コンクール全国大会	
瀧廉太郎記念全日本高等学校声乐コンクール	

器楽

◎ピアノ

コンクール	対象
全日本学生音楽コンクール（毎日新聞社主催）の地区大会	入賞及び入選者

◎弦楽器・管打楽器

コンクール	対象
全日本学生音楽コンクール（毎日新聞社主催）の地区大会	入賞及び入選者
全日本吹奏楽コンクール全国大会	出場資格を得た者
全日本アンサンブルコンテスト全国大会	

- ※ 全国レベル又はそれに準ずるコンクールとは、原則として上記のものです。
- ※ 参加コンクールと同一種目（志望する専門）で受験してください。
- ※ 全日本合唱コンクール全国大会，全日本吹奏楽コンクール全国大会，全日本アンサンブルコンテスト全国大会については，在籍する高等学校から出場した場合に限ります。

学科・専攻	出願資格及び要件
教育協働学科 スポーツ科学専攻	<p>次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者 ただし、推薦人数は各種目につき1校2名以内とする。</p> <p>(1) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和3年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和2年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和2年度中に修了又は修了見込みの者</p> <p>(2) 高等学校在籍中に、次の運動種目のいずれかにおいて、全国大会に出場する競技力を有する者</p> <p style="text-align: center;">[出願資格に関わる大会については、16～17頁を参照すること。]</p> <p style="text-align: center;">陸上競技、バスケットボール、サッカー、バレーボール、 体操競技、ダンス、柔道、剣道、水泳競技（競泳）</p> <p>(3) 調査書の全体の学習成績の状況が3.5以上の者</p> <p>(4) 当該スポーツ活動を継続しようとする意志が強固で、かつ、将来、競技スポーツ選手の指導者を希望する者</p>

出 願 資 格 に 関 わ る 大 会 名 一 覧

種目名	大会名等	備考
陸上競技	全国高等学校総合体育大会（インターハイ）	各ブロック陸上競技選手権大会 決勝進出（リレー種目除く）及び各ブロック高等学校総合体育大会 決勝進出（リレー種目除く）を含む
	国民体育大会	
	全国高等学校陸上競技選抜大会	
	日本陸上競技選手権大会 （リレー競技大会、クロスカントリー競走含む）	
	日本グランプリシリーズ GP種目	
	U20・U18日本陸上競技選手権大会 （日本ジュニア・ユース陸上）	
バスケットボール	全国高等学校総合体育大会（インターハイ）	都道府県予選決勝進出チームの試合出場者を含む
	国民体育大会	
	全国高等学校バスケットボール選手権大会	
サッカー	全国高等学校総合体育大会（インターハイ）	都道府県予選決勝進出チームの試合出場者を含む
	国民体育大会	
	全国高等学校サッカー選手権大会	
	高円宮杯U-18サッカーリーグ・プレミアリーグ	-
	高円宮杯U-18サッカープレミアリーグ プレーオフ	-
	日本クラブユースサッカー選手権（U-18）大会	-
	Jユースカップ	-
	全日本高等学校女子サッカー選手権大会	都道府県予選決勝進出チームの試合出場者を含む
全日本女子U-18サッカー選手権大会	-	

種目名	大会名等	備考
バレーボール	全国高等学校総合体育大会（インターハイ）	都道府県予選決勝進出チームの試合出場者を含む
	国民体育大会	
	全日本バレーボール高等学校選手権大会	
体操競技	全国高等学校総合体育大会（インターハイ）	各ブロック高体連主催大会において、団体2位または個人ベスト4の成績を有する者を含む
	国民体育大会	
	全国高等学校体操競技選抜大会 （2019年度出場予定者を含む）	
	全日本ジュニア体操競技選手権大会	
ダンス	全日本高校・大学ダンスフェスティバル	左記2大会において、予選を通過し、作品を発表した者を含む
	全国レベルの洋舞（バレエ・モダン・コンテンポラリー・ストリート）コンクール【注】	
柔道	全国高等学校総合体育大会（インターハイ）	各ブロック高体連主催大会において、団体2位または個人ベスト4の成績を有する者を含む
	国民体育大会	
	全国高等学校柔道選手権大会 （2019年度出場予定者を含む）	
	金鷲旗高校柔道大会 ベスト16以上	
	全日本ジュニア柔道体重別選手権大会	
剣道	全国高等学校総合体育大会（インターハイ）	各ブロック高体連主催大会において、団体2位または個人ベスト4の成績を有する者を含む
	国民体育大会	
	全国高等学校剣道選抜大会 （2019年度出場予定者を含む）	
	玉竜旗高校剣道大会 ベスト16以上	
	全国都道府県対抗剣道優勝大会	
	全国都道府県対抗女子剣道優勝大会	
水泳競技 （競泳） <リレー種目は除く>	全国高等学校総合体育大会（インターハイ）	インターハイ最終予選会（地域ブロック予選会）の決勝進出者を含む
	国民体育大会	
	全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会	
	全国JOCジュニアオリンピックカップ春季水泳競技大会	

【注】本大会で出願される方は、出願に先立ち10月15日（木）までに入試課へ問い合わせてください。

上記のほか、全日本選手権大会（同等の大会を含む。）あるいは日本代表の資格で出場した国際大会等も対象となることがありますので、これらの大会等に参加した者は出願に先立ち、10月15日（木）までに入試課へ問い合わせてください。

※ 出願資格及び要件について不明な点がある場合は、出願に先立ち早めに入試課へ問い合わせてください。

3 出願期間・出願方法等

(1) 出願期間

令和2年11月1日（日）から令和2年11月6日（金）まで（11月6日必着）

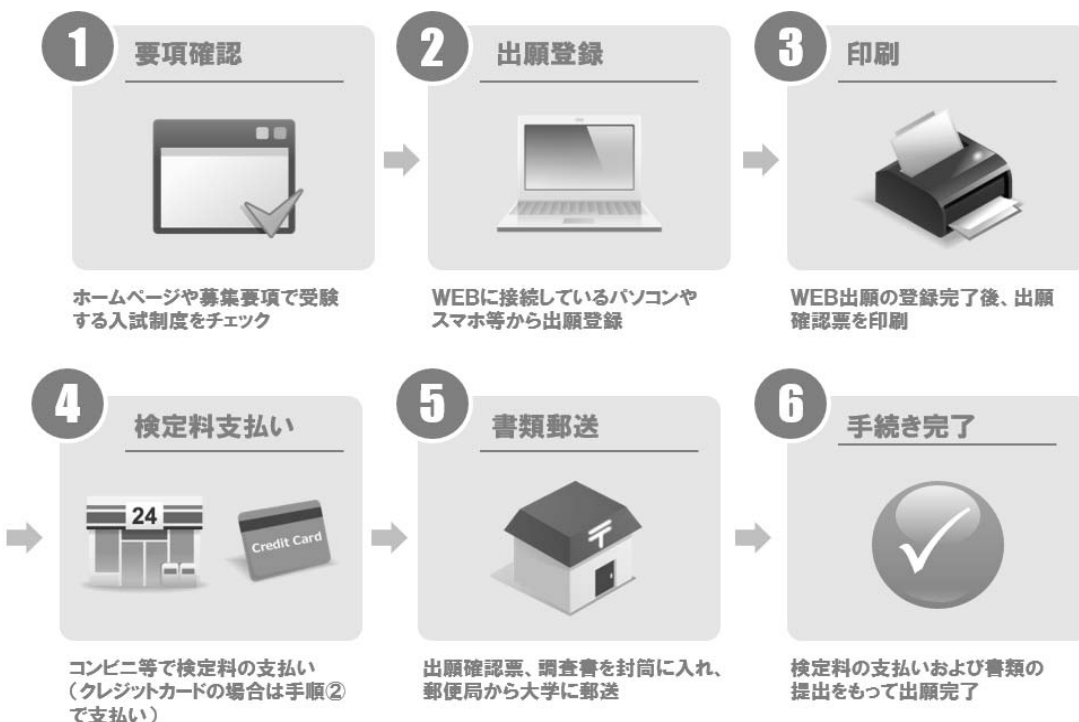
(2) 出願方法

インターネットで必要事項を入力した上で、調査書等の出願書類を郵送する「インターネット出願」を導入しています。出願完了には下記A、B、Cの順番で全ての手続が必要です。なお、各手続には受付期間が定められており、いずれか一つでも出願受付期間中に手続きが完了できない場合は出願を受理できませんので、十分ご注意ください。

A	インターネットによる出願登録	令和2年10月26日（月）9時～令和2年11月6日（金）12時（日本時間）
B	入学検定料等（支払い手数料含む）の支払い	令和2年10月26日（月）9時～令和2年11月6日（金）12時（日本時間）
C	出願に必要な書類等の郵送での提出（持参不可）	令和2年11月1日（日）～令和2年11月6日（金）必着※

※必要書類等の受付は、郵送（書留速達）のみとし、出願受付期間を過ぎたものは受理しないので郵便事情を考慮し、余裕をもって早めに送付してください。ただし出願受付期間後に到着した場合でも11月3日（火・祝）までの発信局消印がある書留速達郵便に限り受理します。

【出願の流れ】



(2) - A インターネットによる出願登録

本学が出願登録業務を委託した外部ウェブサイトでの手続きになります。**詳細は、65頁以降に掲載していますので、必ず確認の上、登録をおこなってください。**

【インターネット出願登録受付期間】

令和2年10月26日(月)9時00分～令和2年11月6日(金)12時00分(日本時間)

※インターネット環境がない等の理由で、「インターネットによる出願登録」を行えない場合は、大阪教育大学入試課まで相談してください。相談時期によっては、出願が間に合わない場合がありますので、早めの連絡をお願いいたします。(大阪教育大学入試課：072-978-3324)

(2) - B 入学検定料等の支払い

【入学検定料等の支払い受付期間】

令和2年10月26日(月)9時00分～令和2年11月6日(金)12時00分(日本時間)

1 入学検定料等 17,384円(入学検定料17,000円と受験票送付用郵便代384円)。
入学検定料等支払い時に、別途インターネット出願システム利用料(459円)がかかります。

2 支払方法

クレジットカード、ネットバンキング、コンビニエンスストア、Pay-easy(ペイジー)の利用が可能です。それぞれの詳しい支払方法や手続き・注意事項等は「インターネット出願ページ」で出願情報登録後の「お支払方法選択」でご確認ください。

支払方法	備考
クレジットカード (VISA,MasterCard)	入学検定料等の支払いをインターネット出願と同時に完了することができます。
ネットバンキング (ジャパンネット銀行、ゆうちょ銀行 楽天銀行、じぶん銀行等)	
コンビニエンスストア (ローソン、ミニストップ、ファミリーマート、 セイコーマート、セブンイレブン、デイリーヤマザキ)	各コンビニにより支払方法が異なりますので、詳細はインターネット出願登録ページ内の「コンビニエンスストアでお支払い」をご確認ください。 支払い後、決済データの反映に数時間かかります。
Pay-easy(ペイジー)を利用可能なATM	取扱金融機関のPay-easy ロゴが付いているATMで支払うことができます。

3 注意事項

出願後、一旦受理した入学検定料等は57頁6の場合を除き返還できません。

東日本大震災(平成23年3月11日)及び熊本地震(平成28年4月14日)により被災した志願者を対象に入学検定料の免除を行う場合があります。詳細は以下のウェブページを参照してください。

https://osaka-kyoiku.ac.jp/admission/nyushi/kenteiryoku_menjyo.html

(2) - C 出願に必要な書類等の郵送での提出(持参不可)

インターネット出願において、出願登録及び入学検定料等の支払いを行っただけでは、出願手続き完了にはなりません。郵送受付期間に必要な書類等を書留速達により郵送(必着)する必要があります。郵送受付期間を過ぎたものは受理しないので、郵便事情を十分考慮し、余裕をもって早めに送付してください。

【出願書類の郵送受付期間】

令和2年11月1日(日)～令和2年11月6日(金)(必着)

※郵送受付期間後に到着した場合でも、11月3日(火・祝)までの発信局消印がある書留速達郵便に限り受理します。(郵便事情を考慮して、早めに送付してください。)

(3) 出願書類等

	書類等	提出該当者	摘要
印刷物 インターネット 出願登録内容の印	① 出願確認票 (書類確認票を含む)	全員	インターネット出願登録ページの出願登録完了画面からA4用紙に印刷してください。必ず片面印刷にしてください。
	② 写真票	全員	写真は2枚(同一)必要です。インターネット出願登録完了画面からA4用紙に印刷し、写真を所定の位置に貼り付けてください。 (カラー、正面、上半身、脱帽、縦4cm×横3cmで3か月以内に撮影したもの。写真の裏面に氏名及び志望専攻名を記入してください。)
	③ 宛名ラベル	全員	出願登録完了画面からA4用紙に印刷(カラー推奨)の上、必要書類郵送用封筒(市販の角2封筒)の表面に貼り付けてください。
その他必要となる書類 (⑤から⑧は本学ウェブページから印刷してください)	④ 調査書	全員	出身学校長が作成し、厳封したもの ただし、13頁の出願資格(1)の②に該当する場合は、成績証明書も必ず提出してください。
	⑤ 推薦書	全員	本学所定の様式により出身学校長が作成し、厳封したもの
	⑥ 競技成績に関する証明書	スポーツ科学専攻 志望者のみ	本学所定の様式により出身学校長が作成したもの ただし、記載した出願資格に該当するすべての競技実績について、下記①、②に示す資料(コピー可)を必ず添付してください。 ①大会名、年度、チーム若しくは個人の順位・表彰内容が明らかとなる資料(表彰状、専門雑誌等) ②トーナメント方式の団体競技においては、出願資格を満たした全国大会において 所属チームのすべての試合 の公式記録あるいは公的記録(各競技の主催者から報道機関に配布された資料のコピーを含む。)これらの記録が入手不可能な場合には、出場を客観的に証明できる専門雑誌等の記載資料
	⑦ 演奏能力・創作力に関する証明書	音楽表現コース 志望者のみ	本学所定の様式により出身学校長が作成したもの 「記載上の注意事項」をよく読み作成してください。 コンクール・演奏会等の実績については、下記①、②に示す資料(コピー可)を必ず添付してください。 ①コンクール名、年度、団体もしくは個人の順位・表彰内容が明らかとなる資料(表彰状、専門雑誌等) ②団体においては、出願資格を満たしたコンクールにおいて個人の出場が客観的に証明できる専門雑誌等の記載資料
	⑧ 志望理由書	全員	本学所定の様式に志願者が自筆で400字程度で作成してください。ただし、スポーツ科学専攻は600字程度、美術・書道教育コースは800字程度で作成してください。
	⑨ 伴奏用楽譜	音楽表現コース 志望者のみ	声楽に必要な伴奏用楽譜は、B4判とし志願者氏名を明記してください。(1ページの大きさはB5判)24頁を参照してください。

(4) 障がい等のある者の事前相談

障がい又は病気その他の理由で、受験上の配慮を希望する者は、令和2年10月23日（金）までに入試課へ相談してください。詳細は、以下のウェブページを参照してください。

<https://osaka-kyoiku.ac.jp/admission/nyushi/jizensoudan.html>

<問い合わせ先>入試課（受付時間：平日9：00～17：00）

【TEL：072-978-3324】

また、本学は障がい学生修学支援ルームを設置しています。本ルームは入学後に修学上の配慮を希望する者の事前相談にも応じています。

<問い合わせ先>障がい学生修学支援ルーム（受付時間：平日9：00～17：00）

【TEL：072-978-3479 電子メール：sienroom@bur.osaka-kyoiku.ac.jp】

(5) 出願に当たっての留意事項

国公立大学の学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課す場合、課さない場合を含めて）へ出願することができるのは、一つの大学・学部に限ります。

なお、不合格となった場合に備え、本学又は他の国公立大学の「前期・後期」等へ出願することができます。

注1 出願書類受理後は、出願事項の変更は認めません。また、出願事項が事実と相違していることが判明した場合は、合格又は入学許可を取り消すことがあります。

注2 受理した出願関係書類は、いかなる理由があっても一切返還できません。

4 入学者選抜方法等

(1) 実施日

令和2年11月21日(土)

ただし、学校教育教員養成課程中等教育専攻美術・書道教育コース【美術分野】は11月21日(土)及び11月22日(日)の2日間実施します。また、教育協働学科芸術表現専攻音楽表現コース及び教育協働学科スポーツ科学専攻は、志願者数によっては11月22日(日)にも実施する場合があります。

(2) 検査科目・時間等

課程・学科・専攻・コース	検査時間			
学校教育教員養成課程 中等教育専攻 技術教育コース	小論文 面接			10:00～11:30 13:00～
学校教育教員養成課程 中等教育専攻 美術・書道教育コース	実技 小論文 面接	(11/21) (11/22) (11/22)		10:00～13:00 10:00～11:00 11:30～
教育協働学科 芸術表現専攻 音楽表現コース	小論文 実技 実技	(11/21) (11/21) (11/22)		10:00～11:00 11:30～ 10:00～(*)
教育協働学科 スポーツ科学専攻	小論文・実技・面接 面接	(11/21) (11/22)		9:00～17:00 9:00～17:00(*)

※ 志願者数によっては、検査科目の日時を変更することがあります。

* 志願者数によっては、実施しない場合があります。

上記の場合は、受験票返送時に「受験者注意事項」により通知します。

(3) 入学者選抜方法

課程・学科・専攻・コース	選抜方法
学校教育教員養成課程 中等教育専攻 技術教育コース	大学入学共通テストを免除し、出願書類(学校長が作成した調査書及び推薦書, 志望理由書), 小論文及び面接を総合して行う。
学校教育教員養成課程 中等教育専攻 美術・書道教育コース	大学入学共通テストを免除し、出願書類(学校長が作成した調査書及び推薦書, 志望理由書), 小論文, 実技検査及び面接を総合して行う。
教育協働学科 芸術表現専攻 音楽表現コース	大学入学共通テストを免除し、出願書類(学校長が作成した調査書, 推薦書及び演奏能力・創作力に関する証明書, 志望理由書), 小論文及び実技検査を総合して行う。(演奏能力・創作力に関する証明書には、演奏能力・創作力に関する所見又はコンクール等における受賞歴・演奏歴を記載。)
教育協働学科 スポーツ科学専攻	大学入学共通テストを免除し、出願書類(学校長が作成した調査書, 推薦書及び競技成績に関する証明書, 志望理由書), 小論文, 実技検査及び面接を総合して行う。

※総合得点が著しく低い者については、募集人員に満たない場合でも、不合格とすることがあります。

(4) 令和3年度大学入学共通テストを課さない学校推薦型選抜の実施科目等について

共通テストを課さない学校推薦型選抜で、大阪教育大学が実施する個別学力検査等は次のとおりです。
なお、個別学力検査等を1科目でも受験しなかった場合は、選抜の対象としません。

課程・学科・専攻・コース	検査科目	個別学力検査等の配点等					合計
		小論文	実技	面接	証明書	志望理由書	
学校教育教員養成課程 中等教育専攻 技術教育コース	小論文 面接	250		250			500
学校教育教員養成課程 中等教育専攻 美術・書道教育コース	小論文 実技 面接	100	200	100		100	500
教育協働学科 芸術表現専攻 音楽表現コース	小論文 実技	100	250		100 ※1	50	500
教育協働学科 スポーツ科学専攻	小論文 実技 面接	100	200	100	100 ※2		500

※1 は演奏能力・創作力に関する証明書

※2 は競技成績に関する証明書

(5) 小論文の内容及び採点・評価基準

課程・学科・専攻・コース	内 容	採 点 ・ 評 価 基 準
学校教育教員養成課程 中等教育専攻 技術教育コース	技術や技術教育に関する理解と関心度をみるために、小論文形式で筆答させる。	課題に対する理解力や洞察力、論述における論理の構成力や表現力などを総合的に評価する。
学校教育教員養成課程 中等教育専攻 美術・書道教育コース	文章表現をとおして、思考力・表現力・美術教育に関する理解力と関心度をみるために、小論文形式で筆答させる。	出題された課題に対する理解度や関心度をみるとともに、論理の構成力や文章表現能力等も含め総合的に評価する。
教育協働学科 芸術表現専攻 音楽表現コース	音楽と社会との関わりについての理解と認識をみるために、小論文形式で筆答させる。	出題された問題への関心度・理解度をみるとともに、論旨の明確さ、文章表現能力等も含め総合的に評価する。
教育協働学科 スポーツ科学専攻	スポーツに関する理解と関心度をみるために、小論文形式で筆答させる。	出題した問題に対する理解度や関心度をみるとともに、論理の構成力や文章表現能力等も含め総合的に採点・評価する。

(6) - 1 実技検査の実施内容及び留意事項

学校教育教員養成課程 中等教育専攻 美術・書道教育コース

鉛筆による静物デッサン

(注) 鉛筆, 消しゴム (ねり消しゴムを含む) は各自持参すること。羽根ボウキは使用可。
スケールは使用不可
(カルトン, 画用紙, クリップは本学で準備する。)

教育協働学科 芸術表現専攻 音楽表現コース

志望専門別に受験すること。

作曲

ア 与えられたバス及びソプラノに和声を付け四声体にする。(制作時間 2 時間)
イ 与えられたテーマ又はモチーフに基づいて, ピアノ曲を作る。(制作時間 2 時間)
(注) ア, イともに試験中の楽器の使用は認めない。

声楽



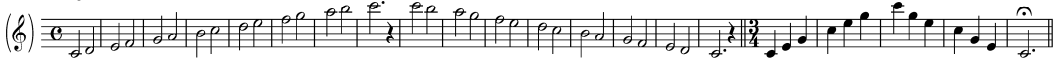
自由曲 2 曲

- (注) 1 歌詞は原語とし, 暗譜で歌うこと。
2 オペラ及びオラトリオ等のアリアは原調で歌うこと。
3 曲の途中で演奏を中止させる場合がある。
4 伴奏用楽譜 (歌唱旋律及び歌詞が記入されたもの) を提出すること。ただし, 1 ページの大きさは B 5 判 (縦 257 mm × 横 182 mm) とし, 志願者氏名を明記の上, 出願確認票と共に提出すること。提出後の作品及び調性等の変更は認めない。
5 伴奏者は本学で配置する。

器楽

自由曲については, 楽器名・作曲者名・曲名をインターネット出願で登録して申請すること。

楽 器	実 施 内 容 及 び 留 意 事 項
ピ ア ノ	ア, イの順に暗譜で演奏し, 繰り返しは省略すること。使用する楽譜の版は指定しない。 ア 次の 3 曲より任意の 1 曲 L. v. Beethoven : Sonate 第 7 番 D-dur Op. 10 Nr. 3 第 1 楽章 第 15 番 D-dur Op. 28 第 1 楽章 第 27 番 e-moll Op. 90 第 1 楽章 イ 自由曲 下記の作曲者の作品より任意の 1 曲 (ソナタの場合は 1 つの楽章) 1) R. Schumann 2) F. Liszt 3) F. Chopin 4) J. Brahms 5) F. Mendelssohn
ヴァイオリン	下記のア, イを暗譜で演奏する。ただし, 無伴奏とする。 ア Carl Flesch : Scale Systemより C-dur No. 5 の冒頭の 12 小節 (テンポは ♩ = 100 ~ 120) No. 6, 7, 8 の冒頭の 4 小節 (テンポは ♩ = 40 ~ 50) イ 自由曲 1 曲
ヴァイオラ	下記のア, イを暗譜で演奏する。ただし, 無伴奏とする。 ア Carl Flesch : Scale Systemより C-dur No. 5 の冒頭の 12 小節 (テンポは ♩ = 100 ~ 120) (注) ヴィオラ用に編曲された楽譜を使用すること。 イ 自由曲 1 曲

楽 器	実 施 内 容 及 び 留 意 事 項
チ ェ ロ	<p>下記のア、イを暗譜で演奏する。ただし、無伴奏とする。</p> <p>ア J.Loeb : Gammes et arpèges pour violoncelle (Billaudot版) により、 3オクターブの音階と分散和音 (C, D, Es, E-dur の中から当日指定) 音階は、テンポ ♩ =60以上 スラーは  の形で演奏する。 分散和音は、テンポ、フィンガリングともに自由 スラーは  の形で演奏する。</p> <p>イ 自由曲 1曲</p>
コントラバス	<p>下記のア、イを暗譜で演奏する。ただし、無伴奏とする。</p> <p>ア シャープ又はフラットが3個までの調号を持つ長調又は短調のうちから、 2オクターブの音階 (調は当日指定。短調は和声的短音階と旋律的短音階の 両方を演奏する。テンポ、フィンガリング、スラーは自由)</p> <p>イ 自由曲 1曲 (注) 楽器貸出し可能</p>
フルート オーボエ クラリネット ファゴット	<p>下記のア、イを演奏する。ただし、無伴奏とし、楽譜は見てもよい。</p> <p>ア 長調の音階、半音階及び主和音の分散和音 (調及びアーティキュレーション は当日指定)</p> <p>イ 自由曲 1曲</p>
ホルン トランペット トロンボーン バス・トロンボーン チューバ	<p>下記のア、イを演奏する。ただし、無伴奏とし、楽譜は見てもよい。</p> <p>ア 次の譜例により、長調の音階2オクターブ及び分散和音 (調は当日指定)</p> <p>M.M.♩=88 Listesso tempo</p>  <p>イ 自由曲 1曲</p>
パーカッション	<p>下記のア、イを演奏する。ただし、無伴奏とし、楽譜は見てもよい。</p> <p>ア 小太鼓の基本奏法 1つ打ち、2つ打ち、5つ打ち (緩→急→緩 等, 当日指定), ロール (<, >, < > 等, 当日指定)</p> <p>イ 小太鼓, マリンバのいずれかを用了自由曲 1曲 (注) マリンバ (5オクターブ半), 小太鼓, スタンド, バチ置きは貸出し可能</p>

学科・専攻	実施内容及び留意事項
<p>教育協働学科 スポーツ科学専攻</p>	<p>下記 1)～9)の競技種目の中から選択した1種目について、運動技能に関する実技検査を行う。なお、実技検査で使用するウェア、シューズ、防具類等の個人用具は、すべて各自が持参すること。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 陸上競技 出願した当該種目について、試合に準じた形式で試技を行う。 2) バスケットボール <ol style="list-style-type: none"> 1. 各種シュート（ランニングシュート、ジャンプシュート） 2. 2対1または3対2 3. 速攻 4. ゲーム 3) サッカー フィールドプレーヤーまたはゴールキーパーを選択して検査を行う。 <フィールドプレーヤー> <ol style="list-style-type: none"> 1. ボールコントロール 2. 各種シュート（ドリブルシュート、センタリングシュート） 3. ゲーム <ゴールキーパー> <ol style="list-style-type: none"> 1. ゴールキーピング（キャッチング、ポジショニング、セービング、キックの各技能をフィールドプレーヤーの2.3.のテストでゴールマウスに入って行う。） 4) バレーボール <ol style="list-style-type: none"> 1. 対人パス（オーバーハンドパス、アンダーハンドパス） 2. 対人レシーブ 3. スパイクまたはトスまたはサーブレシーブ（選択） 4. ゲーム 5) 体操競技 男子：ゆか、あん馬、鉄棒の各種目で、指定された基本的な技の実施。 女子：ゆか、平均台、段違い平行棒の各種目で、指定された基本的な技の実施。 6) ダンス <ol style="list-style-type: none"> 1. 短いフレーズの創作（現代的なリズム）：現代的なリズムにふさわしい動きを組み込んだ短いフレーズの創作 2. 課題による創作：課題（伴奏付き）を与え、課題からイメージしたものをダンス作品として創作。 7) 柔 道 <ol style="list-style-type: none"> 1. 受身 2. 立技 3. 寝技 4. 乱取 8) 剣 道 <ol style="list-style-type: none"> 1. 切り返し 2. 応じ技 3. 互角稽古・試合稽古 9) 水泳競技（競泳） 出願した当該種目について、試合形式で記録測定を行う。 <p>*試験実施内容は、新型コロナウイルス感染症対策も含め、直前に変更することがあります。</p>

(6) - 2 実技検査の採点・評価基準

課程・学科・ 専攻・コース	実施内容	採点・評価基準
学校教育教員養成課程 中等教育専攻 美術・書道教育コース	鉛筆による静物デッサン	対象把握する力，構成力，表現力などを総合的に評価する。
教育協働学科 芸術表現専攻 音楽表現コース	作曲，声楽，器楽から一つを選択	創作能力・演奏技術及び音楽性について審査し，総合的に評価する。
教育協働学科 スポーツ科学専攻	選択した1種目についての， 運動技能に関する検査	種目固有の運動技能を体力・技術・戦術等の視点から総合的に採点・評価する。

(7) 面接（口述試験を含む）の内容及び採点・評価基準

課程・学科・ 専攻・コース	内容	採点・評価基準
学校教育教員養成課程 中等教育専攻 技術教育コース	将来，技術分野の教員となるのにふさわしい資質と，技術や技術教育に関する知識・関心・理解をみる。くわえて，数学・理科（数学Ⅰ，数学Ⅱ，物理基礎の範囲）に関する小問をその場で課し，口頭で回答を求める。	技術分野の教員への意欲，技術や技術教育に関する知識・理解・関心・意欲・適性および面接時における話の要点や論理性などを総合的に評価する。
学校教育教員養成課程 中等教育専攻 美術・書道教育コース	将来，美術の教員となるのにふさわしい資質と美術教育に関する知識・関心・理解度をみる。	美術の教員への意欲，美術教育に関する知識・関心・理解・適性，面接時の対応や話の論理性などを総合的に評価する。
教育協働学科 スポーツ科学専攻	スポーツに関する理解と関心度と，それに対する表現力をみる。	スポーツへの興味・関心・知識・意欲・表現等を総合的に採点・評価する。

5 入学前教育について【美術・書道教育コースのみ】

学校教育教員養成課程 中等教育専攻 美術・書道教育コースの合格者には，入学前の学習支援として，本学が実施する個別の入学準備課題等に取り組んでいただきます。

詳細については，合格者発表後にお知らせします。